

Aグループ SWOT分析

	プラス面	マイナス面
内部環境	<p style="text-align: center;">強み (Strength)</p> <ul style="list-style-type: none">・各品物に優れた栽培技術・クリーン農業への取り組み・稲作においても多様な栽培方法を行っている (省力化)・少量多品目・多品目・栽培野菜 60 品目の多品目栽培・鮮度・交通の便・流通の便・災害が少ない・杉村太蔵が旭川に目を向けている・お米の収穫量が全道 1 位・そばの作付 3 位・果樹栽培歴史 100 年以上・作物バラバラ	<p style="text-align: center;">弱み (Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none">・後継者不足・長時間労働になりがち。・栽培面積の減少・知名度・農業者の減少と高齢化・農業生産額の停滞・販路が少ない・代表作物の目玉がない・商品プロデュースが弱い・作物バラバラ
外部環境	<p style="text-align: center;">機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none">・農地がこれからたくさん出てくる…・食料安全保障の気運が高まっており、農家の助成や所得増加の取り組みが行われるだろう…・イベントでのPR活動 (食べマルシェなど)・大都市へのPR・動物FGの見直し・スマート農業の普及・見せる農業 (観光と農業)・未来会議の実施・川の街旭川 豊かな水源・豊かな水源と肥沃な土地・地震が少ない環境・飼料作物・北海道ブランド	<p style="text-align: center;">脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none">・「水活」が5年後に終了・温暖化に伴う異常気象・長引くコロナ禍の影響・機械化による資金負担増・ロシア軍のウクライナ軍事侵攻による世界への影響・生産費の高騰・高齢化・機械化・温暖化による病害虫の発生・鳥獣被害・生産コストの増加・日本全体での人口減・高齢化による人材不足・世界情勢の変動激化・人がいない・北海道ブランド

Aグループ クロスSWOT分析

		プラス面	マイナス面
		強み (Strength)	弱み (Weakness)
内部環境		<ul style="list-style-type: none">・多品目のPR・新規就農者 全道トップクラス	<ul style="list-style-type: none">・ふるさと納税の強化・EC, 海外輸出など販路確立
	機会 (Opportunity)		
外部環境		<ul style="list-style-type: none">・有名人を起用して、旭川の人口を増やす。 (杉村太蔵さんとか玉置浩二さんとか)	<ul style="list-style-type: none">・資金援助 (スマート農業に対する)
	脅威 (Threat)		

Bグループ SWOT分析

	プラス面	マイナス面
内部環境	<p style="text-align: center;">強み (Strength)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水資源が豊富 ・米づくりに適した環境 ・(S×O) 米づくりに適した環境なので、パン作りに向く米粉米を栽培し、北海道ブランド品として全国に広めていく。 ・法人化 ・人件費を抑えた家族営農 ・農作物を作付けできる面積が豊富 ・夏暑く冬寒い（寒暖差が大きい） ・新規就農者の育成 ・多品目が栽培できる ・道北地区の米どころとしては非常に大きく大切 ・農村と都市が近い 	<p style="text-align: center;">弱み (Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬が長く農作物の育てられる期間が短い ・人手不足 ・農繁期の人件確保 ・後継者、労働力（手伝い）の人材が少ない ・新規就農される方が少ないように思う ・人口のわりに地産地消が根付いている感覚がない ・旭川市人口は減少傾向 ・高齢化 ・離農地の作り手がいらない ・ほ場が小さい ・法人化する難しさ ・JAが分散している
外部環境	<p style="text-align: center;">機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化により北海道で作れる生産物の幅が広まる ・北海道の中心という利点（物流面） ・旭川市内の食事の評価は高めだと思う ・北海道人口第2位！ ・農業への関心が増えた ・台風等の災害が少ない気がする 	<p style="text-align: center;">脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料等の農業資材の高騰 ・近年の気候変動 ・栽培、輸送コスト上昇 ・米価の下落 ・糖質制限（お米を食べなくなった） ・観光客の来旭減少 ・資源が乏しく、輸入任せ ・海外から安く新鮮な農作物が届くようになった ・経済の悪化

Bグループ クロスSWOT分析

		プラス面	マイナス面
		強み (Strength)	弱み (Weakness)
内部環境 機会 (Opportunity)		<ul style="list-style-type: none"> ・農作物を栽培するのに適した環境でブランド化しやすい ・旭川農作物を道内外へ拡販しやすい ・新規就農の受け皿はある <p>人材募集が出来る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材少ないが旭川の農作物を東京でセールスして道外の人材確保のきっかけとする ・営農の法人化を行って、人材不足を解消する
	外部環境 脅威 (Threat)	<ul style="list-style-type: none"> ・低農薬の農作物の消費を根付かせて、輸入品の消費を抑える ・旭川の農作物を冷凍野菜の原料として売り込む 輸入品消費を抑える ・旭川で畜産を増やし、有機肥料を増やす。循環型農業 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業人材の確保 ・国産農作物の消費拡大 輸入作物を食べない